

何を「生きがいに」



法学部長

かない
金井たかじ
貴嗣

卒業生の皆さん、卒業おめでとう
ございます。

皆さん、卒業を機に、自分の人生
を振り返ってみるとともに、これか
らの自分の人生を考えてみませんか。
これまで、楽しいこともあれば、つ
らい思いをしたこともあったことと
思います。大学に入ってみると、中
学・高校とちがって、自由な時間が
たくさんあることに、とまどいなが
らも、自分のみつめる時間ができ、
これから何がしたいか、何ができるか、
を考えるようになって。しかし、いざ、
考えてみると、世の中がどうなっ
ているのか、今、日本の社会が変わり
つつあることに気がついて。自分が、
いかに世の中のことについて知らな
かったかを自覚しながら、それでも、
いつまでも親の脛をかじるわけにい

かないから、生活の糧となる仕事に
つかなければと。でも、何でもいい
わけではなく、「生きがい」を感じ
られる仕事を、と思い悩んだに違
ありません。

これから社会に出て、仕事をして
みると、給料を得るということは「た
いへんなことだ」と実感すること
でしょう。世の中、いい人もいれば、
いやなやつもいます。これから、い
くつも壁にぶち当たります。それら
の壁を突き破ることができるとどう
かは、皆さんの、社会を洞察する力
と、何を大切に生きてゆきたいかの
「こだわり」だと思えます。これら
の洞察力と「こだわり」は、皆さん
が、大学を卒業してから、生涯、行
う「学」「問」によって養われます。